

令和6年度市民祭総括

○ 実 績

- ・ 出展団体：228団体（令和5年度：214団体）
- ・ 来場者数：23,000人（土曜日）
12,000人（日曜日）
- 合 計 35,000人（令和5年度：27,000人）
- ・ 主 催：尾張旭まつり実行委員会・尾張旭市・尾張旭市商工会

○ 総 括

令和6年10月12日（土）、13日（日）の2日間で開催しました尾張旭市民祭は、両日とも晴天に恵まれ、多くの方に来場いただき盛大に開催することができました。

今年は、元日の能登半島地震、9月の豪雨で大きな被害に見舞われ大変な中、石川県輪島市から朝市組合の皆さまに出張輪島朝市を開催していただきました。ブースには多くの方が立ち寄り、海産物などを買い求められていました。市民祭実行委員会事務局も会場内に災害支援の募金箱を設置し、多くの皆さまから、輪島市への温かいお気持ちをいただくことができました。

主なイベントとしましては、小学校の金管クラブパレード、棒の手警固隊の行進、お化け屋敷、商工会商業部会のポスター総選挙等を開催しました。各イベントともに多くの来場者が見物・参加され大盛況でした。

ステージでは、市内中学校吹奏楽部による演奏、災害協定を締結している石川県輪島市の和太鼓チーム「輪島・和太鼓虎之介」による演奏、同じく災害協定を締結している福島県三春町のキャラクター「こまりん」生誕10周年とあさぴー20周年とのコラボステージ、津軽三味線奏者の岡野兄弟のふるさと大使就任お披露目式と記念講演などが披露され、ステージ前に大勢の観客が集まり、非常に盛り上がりました。

多くの皆さまに来場していただき盛大な市民祭を開催できた一方で、様々なご意見もいただき、事前の交通規制の周知方法、警備方法、駐車場への渋滞対策、駐車場の確保などの課題も浮き彫りとなりました。特に近隣住民の方々には、交通規制等でご迷惑をおかけいたしました。

いただきましたご意見につきましては、来年度以降に少しでも改善できますよう、実行委員会で検討してまいりたいと考えております。

市民祭は、すべての世代の方々に楽しんでいただける本市の最大イベントで、関係者の方々のご協力のもと、2日間を無事に終えることができました。来年以降も、皆さまに楽しんでいただける催しになるように、市民祭を企画してまいりたいと考えております。